

■**牧野富太郎** 独力で日本の本草学を植物分類学に止揚するも、アカデミズムの犠牲となり、80過ぎに認知された。

まきのとみたろう

生麦事件・・・1862＝ 土佐国高岡郡佐川の裕福な酒造家・雑貨商家牧野佐平の子に生まれる。母は久寿。幼名成太郎。

**薩摩藩士密航**1865＝ 3歳：父が死去、

**大政奉還**・・・1867＝ 5歳：母も死去、

**明治維新**・・・1868＝ 6歳：続いて、祖父も死去。富太郎と改名。

廃藩置県・・・1871＝ **9歳**：

学問のすすめ1872＝10歳：地元の寺子屋で習字を学ぶ。

**明治6年政変** 1873＝11歳：目細谷の塾で漢学を学んだのち、名教館に入り、洋学を学ぶとともに、英語学校の生徒になる。

佐賀の乱・・・1874＝12歳：佐川小学校に入学するが、授業に飽き足らず、

三つの内乱・1876＝14歳： 自然退学し、植物採集し始め、「重訂本草綱目啓蒙」を取寄せて、植物名を独習。

JALハイジャック・1977＝15歳：請われて、佐川小学校の臨時教員となる。昆虫にも興味を持って採集。

革新大敗北・1979＝17歳：辞職し、高知市に出て、五松学舎に入るも、コレラ流行で帰郷。

・・・1880＝**18歳**：石鎚山に登って、植物写生し観察記録。高知の中学校教員から欧米の植物学の影響を受け、

**明治14年政変**1881＝19歳：第2回内国勲業博覧会見学と顕微鏡・書籍購入を兼ねて、上京し、博物局田中芳男らを訪問。日光や箱根で採集後、帰郷。自由民権運動にも携わる。

新体詩抄・・・1882＝20歳：伊藤圭介らに植物について質問状を出すなど、独力で植物学を学び、

秩父事件・・・1884＝22歳：**\*上京、矢田部良吉のはからいで、東京大学植物学教室に出入りし始め、植物誌編集の志を抱く。松村任三に接して植物分類学の研究に進み、**

国民之友始・1887＝25歳：祖母が死去。有志らと{植物学雑誌}を創刊、巻頭論文執筆。ロシアのマキシモヴィッチに標本を送る。

初の対等条約1888＝26歳：**\*「日本植物志図篇」第1巻第1集を刊行。**

**帝国憲法発布**1889＝**27歳**：大久保三郎とともに、日本初の国際的な学名となる新種ヤマトグサを発表。発見続けるが、

帝国議会始・1890＝28歳：教室出入りをさし止められ、マキシモヴィッチの元に赴こうとするも、彼が死去目前で断念。

大津事件・・・1891＝29歳：「日本植物志図篇」第1巻第11集で中断し、帰郷して、実家の家財整理に当る。

大本教・・・1892＝30歳：西洋音楽会を開き、指導もする。

郡司千島探検1893＝31歳：長女が死去。再び上京し、助手に採用され、植物の分類記載の業務に専心。

**日清戦争始**・1894＝32歳：

白馬会・・・1896＝34歳：植物採集のため、台湾に出張。

子規句歌革新1898＝**36歳**：

Bushidou・・・1899＝37歳：「新撰日本植物図説」の刊行を始め、

ビブ国産化・1900＝38歳：「大日本植物志」第1巻第1集を刊行。農事試験場囑託となる。パリ万博に、竹の標本を出品。

田中正造直訴1901＝39歳：{植物学雑誌}に英文で「日本植物考察」連載開始。「日本禾本沙草植物図譜」「日本羊歯植物図譜」刊行開始。

教科書疑獄・1902＝40歳：「大日本植物志」第1巻第2集を刊行。

**日露戦争終**・1905＝43歳：経済的に困窮し、アメリカのカーネギー財団あてに補助金申請。

満鉄発足・・・1906＝44歳：共著で「日本高山植物図譜」刊行。「大日本植物志」第1巻第3集を刊行。九州各地で夏期植物講習会始める。

**韓国反日暴動**1907＝**45歳**：東京帝室博物館天産課囑託。「増訂草木図説」刊行。

アヲキ創刊・1908＝46歳：「植物図鑑」刊行。

**伊藤博文暗殺**1909＝47歳：横浜植物会が創立され指導に当る。

韓国併合・・・1910＝48歳：休職を命ぜられ、

大逆事件判決1911＝49歳：千葉県立園芸専門学校囑託。東京植物同好会創立され、会長。「大日本植物志」第1巻第4集を刊行。この年まで毎年、夏期植物講習会を続けた。

**明治天皇没**・1912＝50歳：囑託講師となる。

大正政変・・・1913＝51歳：来日したエングラマーと日光で植物採集。

**第一次大戦始**1914＝52歳：「東京帝室博物館乾・標本目録」刊行。困窮極まる。

民本主義・・・1916＝**54歳**：{植物研究雑誌}を創刊。窮状ぶりが{東京朝日新聞}の記事となり、池長孟から援助の申し出。

**原敬首相暗殺**1921＝59歳：

水平社結成・1922＝60歳：成蹊高等女学校の生徒と植物採集した縁で、校長中村春二から支援を受ける。

護憲三派圧勝1924＝62歳：共著で「日本植物総覧」刊行、「日本植物図鑑」刊行。

治安維持法・1925＝**63歳**：

円本時代始・1926＝64歳：豊島郡大泉に居を構える。

金融恐慌・・・1927＝65歳：理学博士。東北・北陸各地で指導・講演。

共産党事件・1928＝66歳：**妻寿衛が死去し、新種の笹をスエコザサと命名。全国各地を歴訪。**

**世界恐慌**・・・1929＝67歳：「動註国訳本草綱目」刊行開始。

**満州事変**・・・1931＝69歳：自動車事故で負傷し入院。退院後、全国各地を歴訪。

五一五事件・1932＝70歳：「花ショウブの話」「秋の七草の話」「原色野外植物図譜」刊行。

国際連盟脱退1933＝71歳：{植物研究雑誌}の主筆を退く。

帝人疑獄事件1934＝**72歳**：「牧野植物学全集」の刊行始まり、

芥川直木賞始1935＝73歳：全国各地で指導。「趣味の植物採集」刊行。

**日中戦争始**・1937＝75歳：「菊の話」刊行。**\*朝日文化賞。**

第二次大戦始1939＝77歳：東大講師を辞任。

大政翼賛会・1940＝78歳：大分の方で転落し、別府で静養。「雑草三百種」刊行。「**牧野日本植物図鑑**」を刊行。

**日米開戦**・・・1941＝79歳：満州にサクラ調査。池長孟から標本返還され、安達朝花から標品館の寄附を受ける。

創価学会検挙1943＝**81歳**：「植物記」刊行。

年金+総武装 1944＝82歳：「続植物記」刊行。

1945＝83歳：山梨に疎開、敗戦後、帰郷。

新憲法公布・1946＝84歳：個人誌{牧野植物混雑録}発刊。

新憲法施行・1947＝85歳：「牧野植物随筆」刊行。

極東裁判決・1948＝86歳：「趣味の植物誌」刊行。「**天皇に植物学御進講。「続牧野植物随筆」刊行。**

三大事件・・・1949＝87歳：大腸カタルで九死に一生。

**朝鮮戦争始**・1950＝88歳：「図説普通植物検索表～草木」刊行。「日本学士院会員。

**独立回復**・・・1951＝89歳：文部省に牧野博士標本保存委員会が設置され、標本整理始まる。「文化功労者。

TV放送始・・・1953＝91歳：「随筆植物一日一題」刊行。**\*東京都名誉都民におされたが、**

自衛隊発足・1954＝92歳：**肺炎で病臥し、以後、一進一退しながら、悪化して行き、**

国連加盟・・・1956＝94歳：**天皇から見舞いのアイスクリーム届けられてまもなく、**

なべ底不況・1957＝95歳：没した。文化勲章追贈。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、